

病院職員対象研修会について（案）

1 趣旨

病院完結型医療から地域完結型医療への転換が求められている中、病院においては、入退院支援や地域との医療連携等の強化が行われている一方、誤嚥性肺炎や心不全等の繰り返す入退院や入院の長期化、延命や救命を望まない患者の救急搬送等、苦慮する現実もあり、在宅医療との更なる連携が必要とされています。

そこで、入院医療と在宅医療の切れ目ない継続的な医療連携を実現するための取組の一つとして、病院職員（医師・看護師等）の更なる在宅医療への現状理解と連携促進を目的とした研修会を実施するものです。

また、在宅医療推進においても、地域の医療機能の適切な分化・連携は重要な要素であることから、病院間の連携促進を目的とした取組の提案と情報交換の機会も設定します。

2 対象

市内病院の医師・看護師・連携室職員 等
定員 約 100 名（各病院から 6、7 名程度を想定）

3 日時及び場所

日 時 平成 31 年 2 月 頃 午後 7 時から午後 8 時 30 分まで
場 所 未定

4 内容

- (1) 「在宅医療について ～在宅医療と病院との円滑な医療連携の必要性～」
医療法人学縁会 おおさか往診クリニック 田村 学 理事長
- (2) 「医療や看護のスキル提供を介した病病連携について」
吹田市職員から病病連携の取組について説明
- (3) 意見交換会（顔の見える関係づくりの機会）
病病連携促進のための病院間での情報交換（職種ごとの交流）等